

# 好調な出だしとなった2023年のグローバル市場



シニア・ストラテジスト 石黒英之

## ポイント① 23年のグローバル市場は好調な出だし

23年のグローバル市場は好調な出だしとなるなど、リスク回避の動きが目立った22年から潮目の変化を感じさせる動きとなっています（右上図）。

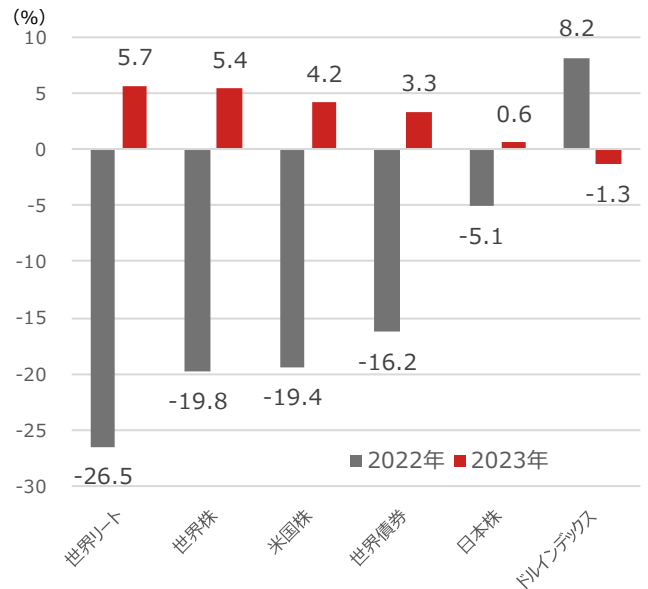
世界的なインフレ加速やそれに伴う各中央銀行による積極的な金融引き締めを背景に、22年のグローバル市場は株安・債券安・REIT安・米ドル高となり、投資家のリスク回避志向が強まった1年だったといえます。しかし23年の年初来は株式を始めとしたリスク資産や債券などに見直し買いが入るなど、投資家のリスク選好姿勢が戻りつつあります。

## ポイント② 過度な金融引き締め懸念和らぐ

こうした背景には、世界のインフレが徐々に落ち着き、各中央銀行の過度な金融引き締めへの懸念が和らいできたことがあります。Bloombergによると、世界のCPI（消費者物価指数）の前年比伸び率は、22年の8.8%から、23年は同5.2%、24年には同3.3%にまで鈍化することが見込まれています。足元で米CPIの前年同月比は6カ月連続で伸びが鈍化し、ユーロ圏のCPIも2カ月連続で伸びが縮小するなど、米欧でインフレのピークアウト感が強まってきました。

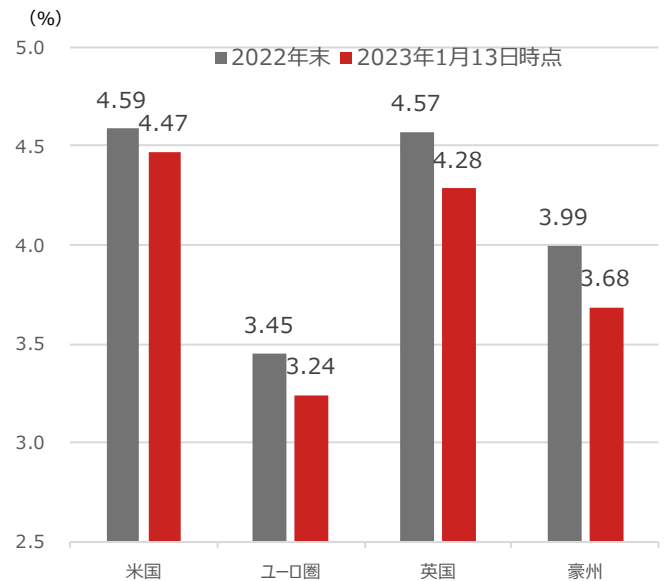
インフレ圧力の緩和を受けて、市場が予想する各中央銀行の23年末時点の政策金利の動向にも変化がみられており、昨年末と直近の2時点で比較すると、米欧英豪でいずれも政策金利予想値が昨年末時点から低下しています（右下図）。今年はインフレ圧力の緩和と金融引き締め局面の終わりが予想され、インフレと金融引き締めに揺れた22年から投資環境は変わるとみられます。年初のグローバル市場の動きはこうした期待を反映した動きといえるのではないのでしょうか。

世界主要指数の騰落率



期間：2022年～2023年、年次  
 ・2023年は1月13日までの騰落率  
 ・世界リートはS&P Global REIT Index（米ドルベース）、世界株はMSCI All Country World Index（米ドルベース）、米国株はS&P500種株価指数、世界債券はBloomberg Global Aggregate Index（米ドルベース）、日本株はTOPIX（東証株価指数）  
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

## 各中央銀行の23年末時点の政策金利2時点比較



・金利先物や短期金融市場から算出される23年末時点の政策金利予想値  
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。